

ひなたぼっこ通信

2019年
5月号

グループホームから

「念願のお刺身食事会と大正琴」1階

五月から年号もかわり、利用者の方の中には4つ目の年号となる方もいらっしゃると思います。ということ、お祝いを兼ねて、今回お刺身の食事会を行いました。以前から「お刺身が食べたい」と希望が何度かありましたが、生物(なまもの)という事でなかなか実行出来ずにいました。やっとご希望を叶えることができて、私たちも大変うれしい気持ちになりました。お刺身以外に、かき揚げ、さつまいもの天ぷら、ちらし寿司、卵とじのお吸い物などをお出ししました。そして、デザートには、果物ミックスの杏仁豆腐をお付けしました。

それらのお料理をお出しすると、「わー凄い！美味しそうー」「今日は何かあるの？何の日なの？」など、あちこちで利用者様から歓声が上がりました。そして、利用者の皆様は、お膳を一回り見渡してから食べ始められていました。お食べになっっている箸の音が、明らかにいつもより賑やかにリズムカルに聞こえました。それで、皆様がとても美味しいと感じながら食べられているのが、私たちにも良くわかりました。利用皆様の笑顔がとても印象的な食事会になりました。生物(なまもの)なので好き嫌いが有るのではと思っていま

たが、全員の方がほぼ完食されビックリもしました。

又その日の午後には大正琴の方々が来てくださり、演奏してくださいました。演奏を聴き笑顔になられる方や、演奏の音に

負けじと大きな声で歌われる方など、各々のやり方で楽しまれていらっしゃいました。来月も又来て頂きたいという利用者の皆様の願いをお伝えし、最後には、一緒にお茶を飲みました。

今日は食事に大正琴にと、とても良い時間となりました。

「新元号発表」 2階

四月一日十一時半頃、新元号の発表がありました。その日は、十一時半前から入居者様と一緒に職員もテレビの前に集まり、ドキドキしながら新元号が発表されるのを待っていました。そして、「新元号は、令和です。」と発表されたとき、入居者様が「次の元号は、令和なんだね。」などと話されたりするのを聞いて、5月から令和になるから4月で平成が最後になるんだと、しみな反面寂しい気持ちになりました。



無料学習塾のお知らせ(再掲)

日時 五月二十六日(日) 午前十時～十二時
場所 ひなたぼっこ本部棟

対象 小中学生

※昼食は百円です。

国語や算数などを

丁寧に学習します。

参加希望の方は気軽に電話をかけて

下さい。



・フードバンクも同日におこないます。保存可能な野菜やお米、加工食品などを受け付けています。気軽にご連絡をください。

ケアハウスから

「ケアハウス事務所」

富士見町にもようやく春の気配が感じられる季節になりました。ケアハウスひなたぼっこも4月から少し体制を変えて新年度をスタートいたしました。私も異動で来てから1ヶ月が過ぎようとしています。

手始めに事務所の引継ぎと、館内の利用者さん職員の実態を把握する仕事からスタート致しました。なかなか慣れない仕事環境なので格闘しながら一つ一つ覚えているところです。

そして、仕事の合間に時間がある時は利用者さんとお話をする事で気持ちを切り替えているところです。

このあいだ利用者の皆様を「お

「お花見ツアー」にお連れしました。そのあとで次のような感想をいただきました。

「この前のお花見と外食ツアーで、桜がとても綺麗で、場所もいつも見ている場所と違っていても楽しく見る事が出来て嬉しかったです」

今回のお花見は、施設長が予め下見をして新しい場所を「開拓」した場所でした。そこは、川のほとりの桜並木で、50本余りの桜が見事に見渡せるところだったのです。事務所の職員も、いい場所が見つかったなと喜んでいました。

これからも利用者さんの立場に立って、楽しく出来る施設であるように努力していきたいと思えます。(丁)

「自分が成長するために」2階

ケアハウスに異動して約半年がたちました。異動した当初は、約3年半いた職場から離れ一からのスタートで不安でいっぱいでした。

しかし今では私の名前を呼んでくれる利用者様がいったり、「Uさんがお風呂の見回りに来てくれる



とホットするのよ」と言っていただけたりする事が嬉しいです。

4月より新卒の職員が入社しました。私は、主任から新入職員指導を任せられました。新入職員の指導は初めての事で自分に出来るのか心配でしたが、新入職員さんは嫌な顔せず一生懸命ついてきてくれたり、笑顔で利用者様に接してくれたりしています。新入職員さんに「Uさんが一緒だと聞きやすいし、心強いです」と言われ、とても嬉しかったです。

教えていくと改めて初心にかえり、自分も学ぶことができ成長に繋がっていくのかなと思います。未熟な所ばかりですが、これからも利用者様に元氣と笑顔を届けられる職員を目指して頑張りたいです。(ウ)

宅老所から

「お花見」

桜の満開の時期に合わせ、毎年恒例のお花見へ出かけてきました。この季節になると、ご利用者様から「お花見に行きたいね」と多くの声が寄せられ、毎年楽しみにされているイベントの一つとなっています。

今年は富士見町の某所「池のほとりに満開の桜」という、とても素敵なロケーションのところでお花見をしました。

たくさんのお花を眺めながら「きれいだねえ」「見事だね」と皆さん大変喜ばれ、感激されていました。春の草花を摘んだり、ベンチに腰

掛け景色を眺めたりと、思い思いに過ごしていたできました。

平成最後のお花見、皆さんの笑顔もまた嬉しかったです！

放課後等デイサービスから

「春休みと連休」

春休みや連休に、子ども達は朝からやってきます。諏訪の公園をあちこちめぐって、遊ぶ子ども達。ちょっと疲れて、「女子会」でベンチで一休みといった図です。

公園では、親子連れや老夫婦が孫を連れて来ている姿などによく出会います。「こんにちは」と声をかけると、ほとんどの方が声を返してくださいます。こうやって、少しずつ子ども達への理解が広がっていくかと思っています。ノーマライゼーションとはそんなに難しい理屈ではありません。同じ時代を同じ社会で生きているもの同士。お互いがお互いを理解しましょう、そしてできることは助け合いましょう、といった、簡単なことです。ところで、雨の日に、安全に楽しく、ただで子ども達が遊べる場所を、どなたか知りませんか。



〒399-0211

富士見町富士見1-1650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336

理事長 森 正明